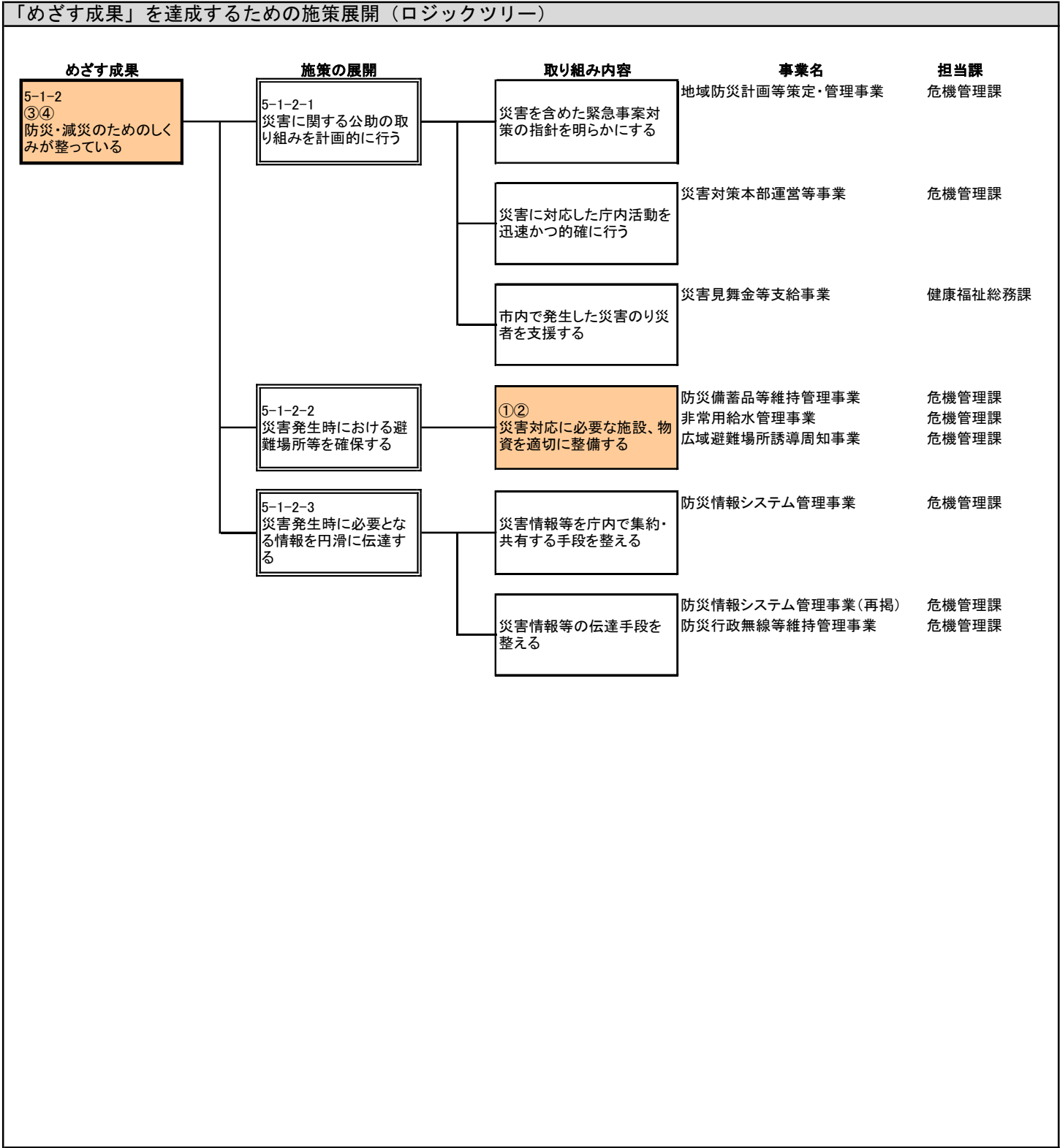


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	まちの健康	
基本目標	５	安全で安心して暮らせるまち
個別目標	５－１	災害への対応力を高める
めざす成果	５－１－１	災害に対して自ら備えをしている
	５－１－２	防災・減災のためのしくみが整っている
	５－１－３	都市の防災機能が充実している



所 管 部		市長室				
【成果を計る主な指標】						
指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	地域で広域避難場所が知られていると思う市民の割合	７０．１％			７１．０％	７２．０％
②	想定避難者数に応じた非常食料の備蓄率	８５．３％	９２．７％	１００．１％	１００．０％	１００．０％
③	防災講話の受講団体数	４０団体	３３団体	２２団体	５２団体	６０団体
④	防災協力農地数（累計）	４箇所	６箇所	６箇所	８箇所	１０箇所

【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】		
施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
災害に関する公助の取り組みを計画的に行う	■複合災害に備えるために指定緊急避難場所の開設訓練（説明会）を行いました。 ■災害対策本部活動を円滑に行うために、対策本部会議用のモニター、レインコート装備品の整備等を行いました。	■災害対策本部の円滑な運営を行えるよう、必要装備品等の購入を進め、災害対策本部職員の知識、技術の向上を目的に研修や訓練を行い、災害時の体制整備を継続して行います。
災害発生時における避難場所等を確保する	■備蓄品計画に基づき、避難生活施設（指定避難所）や地域活動拠点等に設置してある防災備蓄倉庫に災害用非常食、災害対策用資機材や感染症対策用品を備蓄しました。 ■飲料水兼用貯水槽の維持管理（２箇所/年）を行いました。 ■経年劣化等により、表示が不良となった案内板等を交換または修繕しました。	■想定避難者数の見直しに伴う備蓄食料の増加については、令和2年度に整備を完了したことから、今後は賞味期限を迎える食料の入替えを計画的に行います。 ■飲料水兼用貯水槽（11箇所）は、最新のものでも設置から29年を経過しています。災害時における給水に支障をきたすことがないように、今後も継続して点検を行うとともに、修繕箇所が見つかった場合は、速やかに修繕を行います。 ■広域避難場所の案内板及び現地案内板について、引き続き老朽化等に伴う損傷に対し計画的な更新、修繕を実施します。
災害発生時に必要となる情報を円滑に伝達する	■災害時に市民への情報伝達が円滑に行えるよう、防災行政無線等の保守点検による維持管理を行い、MCA無線のテスト（毎月）や防災ラジオの追加整備を実施しました。	■現在運用している防災行政無線は、建築物の遮音性の向上、風向きや地形等の諸条件により難聴地域が発生しているため、自動音声応答装置やＰＳメール、ヤマトＳＯＳ支援アプリ等、他の情報伝達手段の周知を継続して行います。 ■新たに開設した福祉施設や児童施設等に対して、280MHz 戸別受信機（防災ラジオ）を配付します。